**資料３**

**整備計画書**

**朱書きは記載例及び注意事項のため、申請時は削除すること。**

|  |  |
| --- | --- |
| 申請主体 |  |
| 申請主体名 | ○○県　○○市 |
| 代表団体の長名 | ○○市長　総務　太郎 |
| 担当者連絡先 | ○○部△△課　係長　総務一郎電話：XXX-XXXX-XXXX、メール：\*\*\*\*\*\*\*\*@++++.jp |
| 事業概要 |  |
| 1. 事業内容

実施する事業名を【●●事業】と記載すること【ケーブルテレビ複線化等整備支援事業】平成○年に、○○補助金により整備したFTTHケーブルテレビ網の幹線上に、土砂災害警戒区域に指定されている箇所があり、断線が想定されるため、△△地区から■■地区へ異ルートを整備することでループ化を行う。併せて、当該土砂災害警戒区域を含む区域の既設伝送路が設置から○○年以上経過して老朽化しているため、当該既設伝送路の更改を行うことでより強じんな放送ネットワークの構築を図る。また、◇◇地区は具体的な災害等は想定されないものの、他の代替情報伝達手段もなく、ケーブルテレビへの依存度が高いため、断線した場合重大な支障が想定されることから、☆■地区から◇◇地区への異ルートを整備し、複線化を行う。さらに、既存設備には監視制御機能がないため、監視制御機能を備えたノードを整備して、監視制御機能を強化する（サービスの高度化に伴い、ネットワークの監視機能の強化のために、ヘッドエンド側に遠隔制御機能を可能とする改修を行い、加入者宅の一部に遠隔制御機能を可能とする設備を設置する。）。これに加え、災害時等における商用電源喪失時においても電源機能を維持するため、非常用電源設備を整備する。・整備エリアのケーブルテレビに係る地域特性・現状やその課題・本補助事業での具体的な整備内容・同エリアの災害の危険性や、災害対策の必要性　等を具体的に盛り込むこと②事業費

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　 |  |  | （単位：千円） |
|  | 事業費（全体） | 事業費（補助対象） | 補助金申請額 |
| 施設・設備費 | ○○○，○○○ | △△△，△△△ | □□□，□□□ |
| 用地取得費・道路費 |  |  |  |
| 企画・開発費 |  |  |  |
| 合計 | ○○○，○○○ | △△△，△△△ | □□□，□□□ |

 |
| １．ループ化等（自然災害など危険が想定されている箇所の強じん化） |
|  | 想定箇所１　（複数箇所ある場合は　想定箇所２・・・と適宜追加すること） |
|  | （１）　想定箇所概要① 断線が想定される箇所　　　 ■■地区② ケーブルテレビ網の所有者（IRU契約の有無等も記載）　　　 ○○市（☆☆ケーブルとIRU契約を締結し、貸与）③ ケーブルテレビ網の種類　　 　有線（光ファイバー）④ 断線により想定される支障ア　支障内容　　　　 断線箇所から先の■■地区への情報遮断イ　影響エリア世帯数　 ○○○世帯　　　ウ　影響エリア加入世帯数（影響エリア加入世帯数／影響エリア世帯数）　　　　 ○○○世帯　　　エ　影響エリア加入率　　　　 ○○％⑤ 断線が想定される理由（水害等、ハザードマップ等で確認できるとなお良い）　　　ア　公的資料（ハザードマップ等がある場合）　　　　　 土砂災害警戒区域に指定されている。（参考資料○「ハザードマップ」参照）イ　過去被害、頻度　　　　　 平成○年の梅雨時期の大雨により発生した地滑りの影響で有線網が断線し、復旧に12時間要した。　　　ウ　その他（上記以外に理由がある場合、又は補足事項がある場合はこちらへ記載）　⑥　当該断線による影響エリアにおける他の情報伝達手段の有無　（CFM、防災行政無線等）　　　 無し。（２）整備網概要① 整備網の種類　　有線（光ファイバー）② 整備場所・ルート　ア　整備場所・ルート　　　 △△地区から■■地区への異ルートを整備し、ループ化する。　イ　整備場所・ルート選定理由　　 土砂災害警戒区域外であり、災害が想定されていないため。③　所要額（事業費）　　○○○，○○○千円 |
|  |
|  |
|  |
|  |
| １－２．ループ化等（断線した場合重大な支障が想定される箇所の強じん化） |
|  | 想定箇所１（複数箇所ある場合は　想定箇所２・・・と適宜追加すること） |
| （１）　想定箇所概要① 重大な支障が想定される箇所　　　 ◇◇地区② ケーブルテレビ網の所有者（IRU契約の有無等も記載）　　　 ○○市（☆☆ケーブルとIRU契約を締結し、貸与）③ ケーブルテレビ網の種類　　　 有線（光ファイバー）④ 想定される支障ア　支障内容　　　　 　断線箇所から先に連なる世帯一帯への情報伝達が困難になる。イ　影響エリア世帯数　　 ○○○世帯ウ 影響エリア加入世帯数　　　　　 ○○○世帯　　　エ　影響エリア加入率（影響エリア加入世帯数／影響エリア世帯数）　　　　　 ○○％⑤　重大な支障が想定される理由　　　　当該影響エリアは難視地区であり、④エにあるとおりケーブルテレビへの依存度が高く、断線した場合影響エリア内住民の情報が遮断されるため。⑥　当該断線による影響エリアにおける他の情報伝達手段の有無（CFM、防災行政無線等）　　　 無し。（２）整備網概要① 整備網の種類　　有線（光ファイバー）② 整備場所・ルートア　整備概要・場所・ルート　　　☆■地区から◇◇地区への異ルートを整備し、複線化する。　イ　整備場所・ルート選定理由　　　災害等の影響が想定されていない最短のルートであるため。③　所要額（事業費）○○○，○○○千円 |
|  |
|  |
| １－３．ループ化等と同時に行う老朽化した既設伝送路の更改 |
|  | （１）　既設伝送路の概要①　ループ化等の対象区域　　　　上記１．想定箇所１②　上記ループ化等の対象区域における既設伝送路の設置後の経過年数　　　　○○年③　上記ループ化等の対象区域が含まれる条件不利地域の種類　　　　過疎地域（２）　整備網概要①　整備網の種類有線（光ファイバー）②　所要額（事業費）○○○，○○○千円 |
| ２．監視制御機能の強化 |
|  | （１）　現状の監視制御機能の有無　 　無し。（２）　（１）が「有り」の場合、その概要（３）　整備する監視制御機能の概要　　①　何ができるようになるのか　　　 障害が発生した場合、ノード単位で範囲を特定できる。　　　 加入者宅の端末の監視及び遠隔制御機能の実装。　　②　整備する設備　　　 ノード、監視制御端末、 Idp（認証認可システム）及びSMS（加入者管理システム）、IP STB 集中遠隔制御システム （クライアントライセンス）、IP STB　　③　設置場所　　　 エリア内全体　　　 ●●ヘッドエンド、加入者宅（４）　監視制御範囲　　①　監視制御されるエリア世帯数　　　 ○○○世帯　　②　監視制御されるエリア加入世帯数　　　 ○○○世帯　　③　監視制御されるエリア加入率　　　 ○○％（５）　所要額（事業費）　　　 ○○○，○○○千円 |
| ３．電源機能の維持に係る設備の整備 |
|  | （1） 現状の電源機能の維持に係る設備（非常用電源設備・無停電電源装置等）の有無無し。（2） （1）が「有り」の場合、その概要（3） 整備する電源機能の維持に係る設備（非常用電源設備・無停電電源装置等）の概要①　整備することにより、どう電源機能の維持に資するのか整備前は、発動発電機がないため、電源喪失時は電源機能を維持することができなかったが、発動発電機を整備することにより、電源喪失時に放送を●時間継続することが可能になる。②　整備する設備発動発電機③ 設置場所●●ヘッドエンド（●●県●●市■■）（4） 電源機能の維持に係る設備の整備により影響を受ける範囲①　電源機能の維持に係る設備の整備により影響を受けるエリア世帯数○○○世帯②　電源機能の維持に係る設備の整備により影響を受けるエリア加入世帯数○○○世帯③ 電源機能の維持に係る設備の整備により影響を受けるエリア加入率○○％（5） 所要額（事業費）○○○，○○○千円 |
| ４．整備地域を管轄する市町村の条件不利地域の種類及び財政力指数 |
|  | （1） 条件不利地域の種類過疎地域（一部）（2） 財政力指数●．●●（令和●年度） |
| ５．関連事業 |
|  | ※本事業と連携する事業や、時期を近接して実施予定のケーブルテレビ関連の事業等があれば記載。　また、国土強靱化地域計画に本事業に沿った内容の記載がある場合は、その内容を記載。未策定で今後記載の予定があり、事業の開始までに策定が完了する場合は、策定の予定時期を記載。（国土強靱化地域計画の記載例）○○地区「ケーブルテレビ複線化等整備支援事業」による幹線冗長化××地区「ケーブルテレビ複線化等整備支援事業」による監視機能強化■■地区「ケーブルテレビ複線化等整備支援事業」による電源機能の維持に係る設備の整備 |

※　資料２の「添付書類」に全ての添付資料を記載できている場合は、下記割愛。

添付資料

全ての添付資料について

その名称及び資料番号を記載

　・契約予定内容に関する調査表

・光ファイバーケーブルの整備（使用）計画について

・芯線設計の基本的な考え方について

・回線系統図

　・ネットワーク構成図

　　・その他計画書の内容を補足する資料（ハザードマップ等想定される災害等を示す資料、ソフトウェアのⅡ-5別表1-2との対応表等）